

「第 24 回スポーツ環境会議」議事録（要旨）

令和 6 年 8 月 26 日（月）14:00～16:00

本庁舎 6 階 第 2 委員会室

1 出席者

1	岡 浩一朗（学識経験者）	11	鈴木 史博（生涯学習スポーツ課長）
2	神田 隆弘（区スポーツ協会）	12	神崎 章（新宿未来創造財団等担当課長）
3	橋本 純（区スポーツ推進委員協議会）	13	渡辺 隆介（障害者福祉課長）
4	金子 和子（区レクリエーション協会）	14	榎本 清乃（子ども家庭課企画係企画主査）
5	藤原 千里（区障害者団体連絡協議会）	15	菅野 秀昭（健康政策課長）
6	只野 純市（区青少年育成委員会）	16	小菅 健嗣（みどり公園課長）
7	武内 隆則（区小学校 PTA 連合会）	17	齋藤 正之（教育調整課長）
8	平田 知子（区中学校 PTA 協議会）		
9	南 滋文（公募委員）		
10	新谷 太郎（スポーツ関連事業者）		

欠席者 5 名

田中 稔（区町会連合会）
村上 光一（区高齢者クラブ連合会）
下村 扶美子（公募委員）
加賀美 秋彦（新宿未来創造財団事務局長）
袴田 雅夫（地域包括ケア推進課長）

机上配付資料

資料 1 スポーツ環境会議（第 23 回）での方針（素案）に対する意見・質問要旨と区の対応
資料 2 新宿区スポーツ環境整備方針（素案）案 概要版
資料 3 新宿区スポーツ環境整備方針（素案）案
資料 4 新宿区スポーツ環境整備方針の改定に係る今後のスケジュール
資料 5 （参考資料）TOKYO FORWARD 2025
資料 6 （情報提供）障害者スポーツの推進に関する区の実践について
資料 7 （情報提供）ブラインドサッカー体験会チラシ
資料 8 （情報提供）区にゆかりのあるアスリートのオリンピック・パラリンピック出場について
資料 9 （情報提供）新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソン募集要項

2 事務局

新宿区 地域振興部 生涯学習スポーツ課

3 会議内容

(1) 開会

(2) 生涯学習スポーツ課長あいさつ

皆さん、あらためまして、暑い中お集まりいただきありがとうございます。

今年度2回目のスポーツ環境会議となります。本年度はオリンピックイヤーということで7月26日から8月11日にかけて、パリでオリンピックが開催されました。オリンピックには、区立津久戸小出身の牧野紘子選手が水泳競技で出場されまして、その他、多くの日本人選手の活躍に勇気をいただいたところです。

8月28日、日本時刻29日にパラリンピックが開幕して、こちらには新宿区のスポーツ栄誉賞受賞者である高桑選手が、陸上競技と女子走り幅跳びに出場される予定です。時間は日本時間で8月31日18時です。ぜひこの場にいる委員の皆さんも一緒にパリまで応援を送っていただきたいところでございます。

新宿にゆかりのあるアスリートの方々と連携した事業ですとか、様々なスポーツイベント、環境整備等々を行っているわけですが、このスポーツコミュニティの推進が、地域に浸透して、効果を波及させる取組はとりわけ今回、本日お集まりいただいている委員の皆様の力添えや、地域の皆様の支えが必要になると考えておりますので、今回、新宿区のスポーツ環境整備方針の素案について、委員の皆様に議論いただきます。この方針を策定する意義についてあらためて申し上げると、区の事業や地域の皆様の取組が同じ方向性を持つといったところです。本日素案とあわせて、来年度開催の世界陸上やデフリンピックについての情報交換もさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(3) 新宿区スポーツ環境整備方針の素案について

・生涯学習スポーツ課 資料説明 資料1～3

<質疑応答>

【南委員】

この概要版は実際に出来上がった後、素案は完成版としていろんなところで配布設置されるのでしょうか。あとすごい細かい話ですけれども、横長で見にくいなって思いまして、この感じだと開きにくいので、この8ページの真ん中でホッチキスで止めていただく方がいろんな方が取って、小さなスペースで読めるのかなと思ひまして。

【生涯学習スポーツ課長】

まず一点目、これは完成版かというところですが、素案の段階ですので確定版ではございません。この素案を基にして、最終的な内容が確定したら、こちらも含めて配布します。まだ現時点では案ですので、この中身も含めてご議論いただきたいという、まだそういった段階でございます。冊子A4、横の見開きよりはというと、ご意見をいただきましたけれども、契約書の仕様もあつたりはするので、

デザインについてはご意見として承ります。ありがとうございます。

【区スポーツ推進委員協議会】

先ほど前段で素案の中身について回収していただいたと思うんですけど、その中に多様性って言葉が結構使われていて、この冊子をみると多様なスポーツぐらいしか触れてないので、何かこう見開きの現状の基本的な視点というところに多様性って言葉も、せっかく皆さんが意見を出して年齢とか国籍とかという話があったので、新宿らしい言葉として多様性とか入れてもいいのかなっというのを思いました。

【生涯学習スポーツ課長】

ぜひその視点もですね、例えば、素案の本体の5ページに基本的な視点というのがございまして、そもそもこの方針の視点というのを3つ掲げています。持続性・継続性、自主性・自立性、その下に連携・協働というような視点がございます。この、視点も含めて多様性というところも、検討してみたいと思いますのでご意見ありがとうございます。

【区障害者団体連絡協議会】

私、前回、10年前に策定のときに関わらせていただいて、本編は本当に分厚いので、正直申し訳ないんですけど、あんまり見た記憶がなくて、やっぱりこの小さい、薄いものがやっぱり目について、これが見やすいかどうかで、理解度がずいぶん違うと思うんですね。今日客観的に見た感じだと、まだイラストとか写真が入ってないので、すごくイメージがしにくくて。例えばある程度、障害がある方についても、点字を入れるとか、あと色彩をもう少しはっきりしたもの、中間色って見分けがしにくいので、そういったバリアフリーというか、UD的なニュアンスも入れていただいた上で、こういった素案の簡単なイメージのものがあるといいかなと思いました。

【区小学校 PTA 連合会】

先ほどから出ているのですけれども、そもそもこの今回の案内の時に、前回の議事録のところで私の意見なんかも入ってまして、そういう意味で、こういうふうに反映させていただいて、参加した甲斐があったなと思っております。

【学識経験者】

全体的によく整理をされていると思いますので、全体は問題ないんですけど、先ほど課長の方から情報発信という方に強化していくというお話があったと思うんですけど、やっぱりこれはすごく大事なキーになるんじゃないかなと思っています。全体を通じてそれぞれに情報発信というのはあるんですけども、そこをすごく強化するんだというところが、なんとなく目に見える形になるといいなと思いました。さっきの国籍を問わないとか、いろんな部分で、そういう人たちにとっては情報は命だと思います。それが多言語化されるとか、そういう取り組みはやっていくんだってのはあるんですけども、更にはそれだけにとどまらず、いろんな意味でのスポーツに関する情報というんですかね、それをもっと評価するんだということが今更ながらの意見なんですけども、全体を通じてもっと強調していきますよっていうのは、この10年間でもっと進むと思います。情報の発信をやる部分というのは、そこに連動し

て、いろんな情報を発信しますよというのをどこか強調できるようなところがあるといいのかなと思いました。

（４） 世界陸上、デフリンピックに関連した取組について

＜質疑応答＞

【区スポーツ推進委員協議会】

デフリンピックのことは情報がないということもあったんですけど、会場はまだ定まってない中で、恐縮なんですけど、新宿区としてどういうふうにデフリンピックに携わっていくのかとか、私どもスポーツ推進委員なので、手伝えること、例えば手話とか競技支援とか地域の皆さんもどうやって盛り上げていくかっていうところあると思います。何かお考えとか新宿区としての取組を検討されていることがあったら、ご紹介いただければと思います。

【生涯学習スポーツ課長】

世界陸上、デフリンピックとあるんですけど、特にデフリンピックのところは、選手の方とか実際にその障害をお持ちの方が、この競技に参加するにあたってのコミュニケーションだとか、そういったところも含めて様々なノウハウが必要になると認識しているところです。逆に言うと、そのあたりが今回の競技大会での、例えば障害理解の促進とか、そういったものにもつながるのかなと感じているところです。具体的にそれに絡めた事業をどうしていくかというのはまだ構築できていないんですけども、そういった障害者理解が進むようなスポーツイベントとか、今もパラスポーツの事業とかやってるんですけども、まさに障害者スポーツの推進としての取組を行っていきたいというふうに考えています。後ほど障害者スポーツの事業についてご紹介させていただきますけれども、その中で、デフリンピックのところも何かできるかというのは考えていきたいと思ってるところです。

【区障害者団体連絡協議会】

デフリンピックのことは後でお話をさせていただこうかなと思っていたんですけども、基本的な競技会場はもうすでに決まってはいるんですけども、細かなイベントみたいなことはまだ少しずつ、民間で、例えば船橋のららぽーとでそのデフのイベントがあったりという。聴覚障害協会みたいなところが積極的に行っているところはあったりするというようなので、オリンピックみたいにだんだんカウントダウンして行って、どんどん盛り上がるっていうようなイベントがなかなか目につくようにはないんですけども、例えばこの間の週末には渋谷区でもイベントがありました。ただ、その行政と絡んでやってるかどうかというのは、それぞれ自治体によって違うみたいです。できれば新宿区の聴覚障害者協会があるので、そちらと連携をとっていただいて、会長がデフリンピックも積極的に関わってらっしゃるので、できれば直接何かできないかということをお願いさせていただけたらいいかなと思っています。

【生涯学習スポーツ課長】

そういった情報をいただきながら、我々も探り探りなんですけれども、進めていきたいと思っています。

（５） 各団体（個人）におけるスポーツ環境や活動に関する情報提供

【区スポーツ協会】

今の各団体、うちも 36 団体ありますので、いろいろな競技の団体ありますが、そのあたりにこのスポーツ環境整備方針の中のキーワードをぶつけてみたいというふうに思いました。決められただけではなく、門戸を開くというのも、やはり考えていかなければいけないのかというふうに思います。情報としては申し上げたように、そういう幅を持たせるようなスポーツ協会にしてみたいと思います。スポーツ推進委員の皆さんと連携をしながら進めていけたらと思っています。

【区スポーツ推進委員協議会】

8 月 25 日の日曜日にスポーツ推進委員の主催事業ということでボッチャ小学生カップ第 2 回という大会を開催させていただきました。16 の学校で 3 人 1 組ということで実施しました。いろいろな PTA の方々にも声かけさせていただいて、多くの参加をいただいたことと、区長に来ていただいて、すごく楽しくやれたなと思っています。いろんな協賛していただける民間の企業さんもいらっしゃったりして、そのパラスポーツであるボッチャを広げていくってところで小学生をターゲットにした取組でしたので、本当に参加いただいた皆さん、ありがとうございます。引き続き大会を進められたらなと思っていますので、また声をかけさせていただきます。

10 月 6 日から各地区のコミュニティスポーツ大会が開催されて、11 月の第 3 週ぐらいまであります。あわせて、町会さん地域の方が参加いただくということになっておりますのでスポーツ推進委員も審判をしっかりとしていきますので、よろしくお願いします。

あとスポレクでは大学と一緒に体力測定を毎年やらせていただいています。先ほどスポセンの方もやってらっしゃるということだったので、合わせて記録が残るようなものを用意して、経過観察できるかなと思っています。ボッチャ体験とかもやりますし、あと区の方からはゴールボールもあります。パラリンピックもありますので、そういったものをぜひ体験していただきたいなと思っています。

【区障害者団体連絡協議会】

10 月に新宿スポーツセンターと四谷スポーツスクエアで、クリアソン新宿とコラボで体力を増進するような企画があるというふうに伺っていて、障団連の方でもそういった連絡が入ってきてるんですけど、今回、就労系の方をメインの対象にされてると伺っていたので、今後のことについて、障害者種別もいろいろありまして程度もいろいろあるので、今後はそういった就労以外の方にも目を向けていただくような取組をしていただけたらなと思っています。

【区青少年育成委員会】

角筈地区の西新宿小学校なんですけど、校長先生のお考えで、運動会の内容がガラッと変わってまして、午前中は従来の子どもたちによる競技で、午後がみんなの祭典という名前だったと思うんですが、地域のお年寄りたちの参加を募って踊りをやったり、いろんなゲームをやったりするようになって。最初はスポーツありきの保護者に非常に不評だったんですが、スポーツから離れていたような要するに孫の応援に来てる年齢の人たちもスポーツをやってみようかなっている雰囲気になっていけばいいなと思っています。去年、今年の 2 回続けて、拝見させてもらって、そういう方向に行くいい雰囲気を感

じたもんですから、スポーツからだいぶ離れちゃった年齢の人たちに刺激を与えるためにも、いいやり方なのかなって感じます。

【南委員】

シティハーフマラソンの募集開始がありまして。自分も出てみようということで事前登録をやりまして、何キロメートルに出るかで悩んでいます。ハーフマラソンは無理なんです。10キロでどうかと思いながら、でも3キロでいいかなと思っています。自分のモチベーションはどこかというところ、国立競技場からスタートできるっていうところはモチベーションだったりしますので、多分3キロかなと思っています。

【スポーツ関連事業者】

新宿スポーツセンターでは運動機会の創出と、スポーツ人口の増加を目的に、年に1回、スポーツの無料イベントを実施しています。今年度、9月16日に開催予定になっております。昨年度までは一般スポーツと障害者スポーツという内容で行っていましたが、新たに美容体験ということで、生涯学習も取り入れたイベントになっております。時間がありましたらぜひご来場いただければと思います。

もう一点、冒頭に鈴木課長の方からパリオリンピック・パラリンピックのお話が出ましたが、アシックスの方がオフィシャルスポーツウェア、シューズバックを提供しております。そういった関係で、新宿スポーツセンターの方では牧野選手と高桑選手のポスターをバックにオフィシャルのシューズとウェアを展示しております。そちらも是非ご来館になって見ていただけたらと思います。

【区中学校 PTA 連合会】

今日いろいろ聞いておりまして、中学校でどう情報提供を促すかっていうことをずっと考えていたんです。中学生になると小学校と違って、紙ベースでいただいても子供が出さないっていうパターンがすごく多くて。周知に至らないことがとても多いんです。学校の提出物ですら、ですのでせっかくこういう良い取組がたくさんなされているのに知らない子がすごく多いんじゃないかなと思いました。例えばなんですが、中学校PTA協議会から配信、各PTAを通じて配信する方法もありますし、こういった紙ベースのものをデータでいただいて、今学校でアプリを区で提供していただいて、ほぼ全保護者に配信ができるアプリがあるんですが、そちらを活用してデータ配信して、そこからも申し込みができるような形があるともっと中学生、動きたい子がいっぱいいるのに動けないっていうような状況があるので、こういった情報提供の仕方もあるかなとに考えてましたので、今後いろいろ検討できればと思いました。

【区小学校 PTA 連合会】

小P連では、夢授業と称しまして、5月以降の活動としましては親子ナイター、8月27日と29日、ヤクルトの神宮球場でいつもやってたんですけども、今回はジャイアンツ戦ということで、これが大人は1500円、中学生小学生も500円ということで、オリジナルグッズ付きです。それから、8月25日、早稲田大学の方と去年から一緒にやっておりまして。今回は夏休み最終日に体験教室と早慶サッカーの観戦ということで、チアリーダー、応援団、吹奏楽部、和太鼓の体験ということをやっております。

それから9月14日にFC東京と名古屋グランパスの試合観戦ということで、こちらも親子ペアで2000円でグッズももらえるということで、これをスポーツに還元する認識でございます。

先ほど橋本委員の方から出たボッチャ新宿小学生カップで、柏木小学校は2位と3位に入りまして、子供たちもう夏休み前から自主練をずっとやってまして。特別支援の方を中心にやってるんですけども、今朝、2学期の始まりだったんで学校に行ったんですけど、よかったねと言ったら、よかったと喜んでいました。本当にありがとうございます。

先ほどからの意見ですけども、岡先生の方が、休みで用事があったんで、朝一NHKを見てたんですけども、岡先生が出てきてびっくりしました。

クリアソン新宿の話が出てましたけども、柏木小学校の方、すごく密接にお付き合いいただいております。部活の方も見てくださいます。みんな、もう馴染みになって。本当にありがたいですね。先ほどから、ソーシャルキャピタルという話がありますけども、人と人とを結びつけるっていうのは、ここにいる皆さんが得意なところだと思いますので、これからもお願いします。

昨日は柏木公園で子ども演技をやってまして、みどり公園課さんの方には、大変お世話になりました。ありがとうございました。そんな形で人と人との結びつきっていうのは、皆さん得意だと思いますので、今後ともよろしくお願いします。

【区レクリエーション協会】

レクリエーション協会は、都立支援学校の活用促進事業ということで、会場は北支援学校になるんですが、そこでスポーツ教室を10月6日にやります。内容はボッチャとかラダーゲッターそれからフォークダンスからクラフトの作成で遊ぶようなこと。今年初めてクリアソンさんをお願いしてサッカーボールリングが入ります。目先を変えながら、いろんなことをやっていきたいと思ってます。

それから11月9日にレクフォーラム、これは9回目になります。障害のある人となない人、何も構えないで交流ができるようにというのが元々の発想なんですけども、障害があってもなくてもお互い理解できるようにっていう感じのフォーラムをやってるんですが、今までは障害があるってことを私たちが勉強しようっていう形で、障害の疑似体験なんかを主にやってきたんですが、今回は視点をガラッと変えて、私たちがもしろうあの方の中に入ったら分からない、どうやって交流すればいいんだっていう視点のフォーラムをやろうと思ってます。自分の方からばかりではなくて、交流ができる体験したいと思いますので、興味のある方はどうぞコズミックへお越しください。

【区スポーツ協会】

区民大会の開会式が9月1日にございます。また、クリアソン新宿、今年2回目の新国立競技場が11月11日に行います。対戦相手は三浦和良選手がいる鈴鹿が来ます。できれば子供たちにも見てほしいのですが、ナイターなんですね。それともう一点、シティハーフマラソンのパンフレットが入ってるんですが、スポーツ協会からは300人ボランティアを出したんですけど、今年はその倍を狙ってなるべく多くのボランティアを出していこうと思うんです。先ほどから名前が出てますクリアソン新宿もそうなんですけど、私も今年1月に6時半集合で選手は全員参加です。国立競技場のピッチに散って、すべての競技のスタートからゴールを応援して表彰式をバックアップさせていただいて、朝6時から4時半ぐらいだったと思うんですけど、そういう形を演出してきました。応援に慣れてるサッカー選手ですから、すごく気合が入って、いい経験をさせていただきました。新宿区で一番大きなイベントでなるべくみんなで盛り上げていきたいです。私も、今まで十数年ずっと声を張り上げて、ボランティアしてきたんで

すけど、来年も新国立でその辺のお手伝いはすると思うんですけど、20分だけ時間をいただいて、ひよこっていう42.195メートルに孫と出るのが夢で、なんとか元気に出場したいと思います。

【教育調整課長】

中学校のクラブ活動に関しての指導員ですが、今年度60部活に指導員を派遣するという事で予算を組みまして、実施をしているところでございます。現時点において60部活すべてに、指導員を配置という状況にはなっていませんが、二学期にはすべての配置が完了するところでございます。この部活動の指導員の派遣については、事業者に委託をしてそこから派遣をしているものですが、毎年度、教員の異動があり、直接、顧問として指導したいと考えている教員もいますので、必ずしも委託でやってるから、教員はご指導しないでください、あるいは関わらないようにとはなりませんので、そういったところもバランスを取りながら実施をしていくということで、今後も進めていきたいと思っております。

ここで、ひとつご紹介をさせていただきますが、新宿区の少年野球連盟さんが、前にもご紹介させていただきました、全国2万校の小学校に寄贈された大谷グローブを使って、子どもたちに野球の基礎を学んでいただくという野球教室を開催されるといったことで、教育委員会の方も後援をさせていただいているところでございます。開催は11月2日ということで、西戸山野球場で午前9時から午後1時までの開催予定ということになっています。対象としましては小学校1年生から小学校3年生のお子さんたちでございます。それからお礼を申し上げたいのは、先ほどありましたボッチャの小学生カップ、本当に、区内の学校におきまして、障害者理解教育の取組として、ボッチャなどの体験が進んでおり、大会出場を目指して一生懸命頑張る子どもたちの姿というのも目の当たりにしています。本当にこの大会が長く、継続していくことを希望しております。また可能であれば中学生なども対象としたものも今後お考えいただくとありがたいということを付け加えさせていただきたいと思います。

【健康政策課長】

健康部といたしまして、先ほど岡先生からご紹介ありました厚労省の座りすぎはダメというのをエコノミー症候群等から見ても、非常に大事なことでと考えてございます。周知の方していきたいと考えてございます。また健康部といたしましては、運動栄養素といったようなところ、ウォーキング、これはウォーキング協会会長の全面的なご協力をいただきながら3か所も増えていってるという状況もございまして、それと絡めまして、健康ポイント事業というのをやってございまして、もう何万人というクライアントが増えております。そういったところで、栄養分の寄与といったようなところから、健康づくりをこれまで以上に進めていきたいといったところでございます。

【子ども家庭課】

新宿区子ども未来基金というものを活用しまして、子ども食堂などの支援を行っているんですけども、今年度から新たに全国大会に出場する高校生に対する支援を始めております。支援内容といたしましては、全国大会に伴う交通費宿泊費を年額5万円まで助成するという事業を始めております。この事業に関しましては、コズミックスポーツセンターですとか、新宿スポーツセンターにご協力いただきまして、チラシとかポスター設置をさせていただいております。もしお近くの方に、新宿在住の高校生に限るところなんですけれども、全国大会に出場されているような高校生がいらっしゃいましたら、子ど

も家庭課の方におつなぎいただければと思います。

【障害者福祉課長】

先ほどデフリンピックのお話もございましたけれども、デフリンピックが東京で開催されるということで、私どもも日頃から手話通訳者派遣なども行っております。そういったところの機運が高まっていけばいいかなというふうに思っております。

【生涯学習スポーツ課長】

障害者スポーツの推進に関する区の取組のご案内です。新宿ゆにスポ、これがクリアソン新宿と今年度、連携して行っています。先ほど藤原委員からご意見あった事業もこちらになります。23日から記載のとおり実施していきます。先ほど就労系以外でもとお話ありましたが、こちらの発信の仕方、工夫が足りなかったかもしれないですけども、就労系以外の方でもですね、参加できます。

また、パラスポーツ体験会も我々の方で実施していますので、ぜひ周りの方に、関心のある方いらっしゃったらお声かけいただきたいと思います。また、ブラインドサッカーのチラシもつけております。パラスポーツをプレイして体験するということで、こちらもですが、募集中です。まだ枠がございますので地域の中でも宣伝していただけたら幸いです。

冒頭のあいさつでもお伝えしましたが、牧野選手がオリンピック出場されたことと、桑野選手はこれからパラリンピックに出場されます。重ねて申し上げますが、ぜひ応援の方よろしくお願ひしたいと思います。

【新宿未来創造財団等担当課長】

今日、新宿シティハーフマラソン募集要項をお配りさせていただきました。あわせて神田委員からもございましたが、マラソン、走る方だけではなくて支える側、ボランティアを数多くご協力いただきまして、大会ができていますので、そういったボランティア募集のチラシも中にあります。また大会経費もかかるものですから、様々な企業の協賛ですとか個人協賛等も募集して、準備しているというところでございます。資料の表面に募集要項と題名がありますが、その下にエントリー期間、ただいま8月22日から31日の新宿区民優先受付中でございます。9月の1日、2日にはですね、ハーフマラソンの一般の受付、2日からはハーフマラソン以外の受付もスタートします。この裏面を見ていただくと、今回のコースがあります。今回22回に当たって、ハーフマラソンのコースは、新宿通りをアルタ前まで行って折り返してくるというコースを新しく設定をしております。今回大きく変えたのが、こういったところでございますので、あらためまして、新宿の様々な箇所を、走って楽しんでいただけるよう検討したものでございます。奮ってご応募いただければと思います。また、最後になりますが、南委員、検討中のお話でしたけれども、実はこのシティマラソンですね、ハーフマラソンも10キロも3キロもすべて国立競技場スタートとしておりますので、どのコースでも国立競技場から出発できますので、ぜひ長めの距離もチャレンジしていただければと思います。ご協力ぜひよろしくお願いします。

(6) その他

特になし

(7) 閉会